

2価MD生ワクチン (H+S)



製品概要

【主剤】

凍結ワクチン 1mL (1,000羽分)中、
鶏胚初代細胞培養七面鳥ヘルペスウイルス FC126株(シード) $10^{6.0}$ FFU以上 $10^{7.0}$ FFU以下
鶏胚初代細胞培養非腫瘍原性マレック病ウイルス SB-1株(シード) $10^{6.0}$ FFU以上 $10^{7.0}$ FFU以下

【貯蔵方法と有効期間】

貯蔵方法：-190℃以下
有効期間：製造後2年3か月

【用法及び用量】

<頸部皮下接種>

凍結ワクチンを素早く融解後、別売りの溶解用液(品名：「マレック/バッグ」あるいは「マレック溶解用液-IZO」)で1羽当たり0.2mLとなるように溶かし、0.2mLずつを1日齢鶏の頸部皮下に接種する

<発育鶏卵内接種>

凍結ワクチンを素早く融解後、別売りの溶解用液(品名：「マレック/バッグ」あるいは「マレック溶解用液-IZO」)で1個当たり0.05mLとなるように溶かし、自動卵内接種機を用いて0.05mLずつを18～19日齢卵の気室上方中央部より卵内に接種する

【包装】

1アンプル(1mL 1,000羽あるいは2mL 2,000羽)

(製造販売)

ワクチノーバ株式会社

〒105-0013東京都港区浜松町1丁目24番8号
オリックス浜松町ビル4階

TEL: 03-6895-3710 FAX: 03-6895-3711

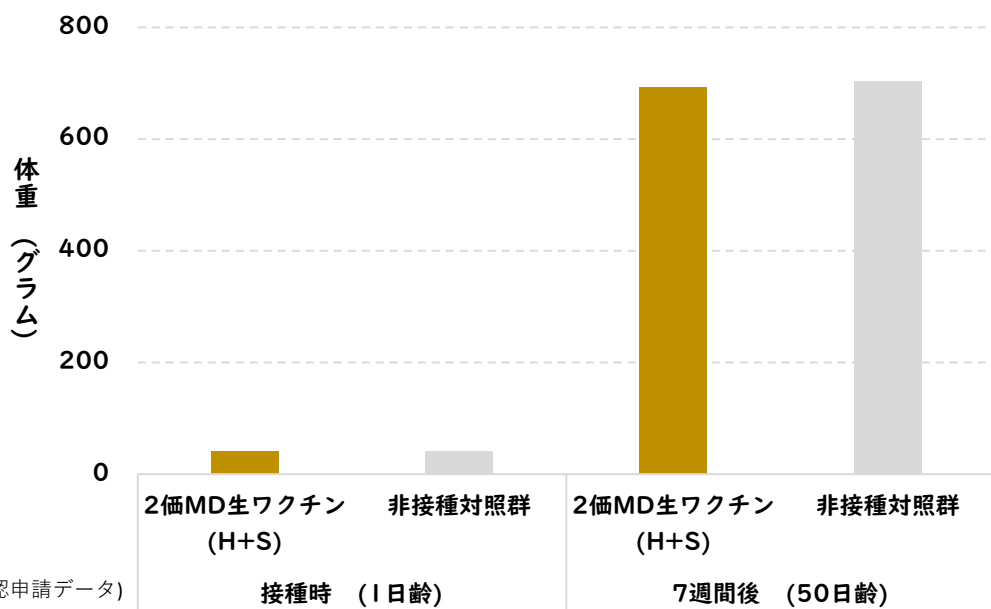
E-mail: contact@vaxxinova.co.jp

<https://www.vaxxinova.co.jp>



安全性

1日齢鶏における平均体重の推移



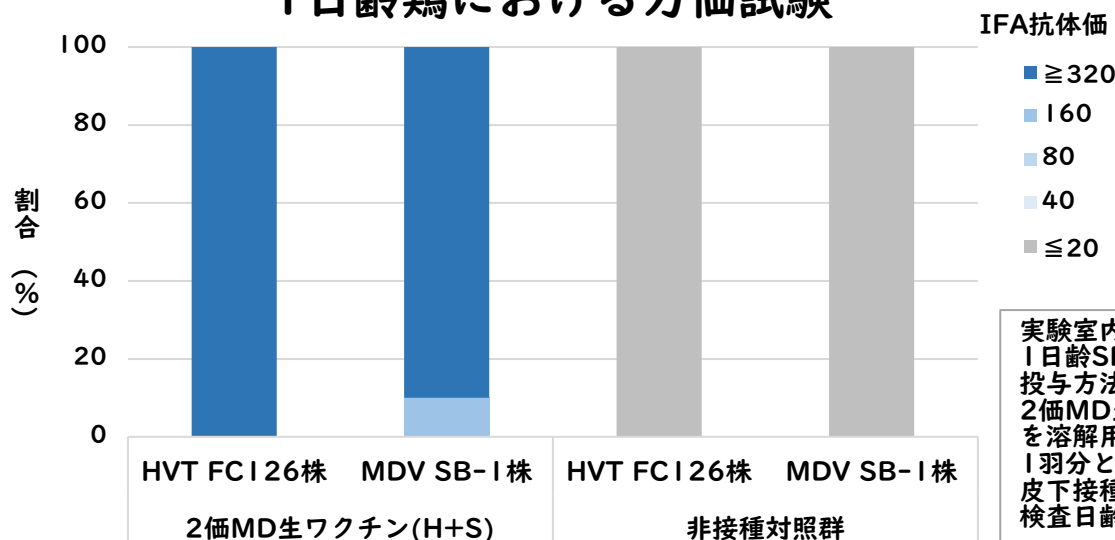
実験室内データ
1日齢SPF鶏 10羽/群
投与方法：
2価MD生ワクチン(H+S)
を溶解用液で0.2mL中
100羽分となるように調
整し、皮下接種
試験期間：接種後7週間

◆試験期間中、2価MD生ワクチン(H+S)接種群、非接種対照群ともに臨床的な異常や剖検においても異常を認めることはなく、体重の推移に有意な差は認められなかった。



有効性

1日齢鶏における力価試験



実験室内データ
1日齢SPF鶏 10羽/群
投与方法：
2価MD生ワクチン(H+S)
を溶解用液で0.2mL中
1羽分となるように調整し、
皮下接種
検査日齢：接種後21日目

(承認申請データ)

IFA抗体価 判定基準：≧40が試験群の80%以上

◆力価試験において、2価MD生ワクチン(H+S)接種群のHVT FC126株およびMDV SB-1株それぞれの抗体価は、供試羽数の100%が40倍以上を示し、判定基準を上回り、有効性が確認された。